



ひゃくいんむげん

泊小だより4号

百輪無限

令和6年7月1日発行

文責：教頭

「親心のはずが」～子育てのむずかしさ～

校長 今泉勝徳

「これはえば立て、立てば歩めの親心」ということわざがあります。これは子どもの成長を楽しみにする親の気持ちを表していますが、そこには、親の「欲」が見え隠れしているような気がします。私自身がそうであったように、多くの親御さんは、産まれる前は、ただただ、無事に産まれてほしいと思い、産まれてからは、健康に育ててほしいという願いだったと思います。産まれてきてくれたことを、純粋に喜び、笑顔を返してくれるだけで、うれしかったことを私も覚えています。

ところが、やがて親の「欲」が生まれてくるのです。我が子に、できるだけつらい思いはさせたくない、幸せな人生を送って欲しいと願うのは「親心」です。そこで、運動ができたほうがいと幼児期からスイミングスクールに通わせたり、小学校に入ってから苦労しないようにと幼児教育の教材を購入して習わせたり、その他、ピアノ、習字、そろばんと言った、いわゆる習い事のオンパレード…となる場合が多々あります。

こうした親の願いや働きかけは、「子どものため」という前提があるため、決して悪いことではありません。しかし、「子どものため」という「親心」であるがために、行き過ぎてしまう場合も無くはありません。そして、「子どものため」といいながら、実は、親自身の不安の解消や自己満足のために、子どもに無理なことを要求している場合も少なからずあるのです。

親に限らず、人間は、相手のためによかれと思ってやっているのにうまくいかないと、腹が立つようにできています。一生懸命努力してきたつもりの親ほど怒りは激しくなります。こうした叱咤激励に対して、「なにくそ！」と踏ん張って乗り越えたり、やめたいことをはっきり親に伝えられたりする子は、それほどダメージを受けないのかもしれませんが。しかし、真面目で責任感の強い子どもほど、親の意向をくみとり、ガマンにガマンを重ねてしまうものなのです。今の時代で言うと忖度とでもいうのでしょうか…。「イヤだけど、イヤとは言えない」「やめたいけど、やめると言ったら親ががっかりする」など、心の中での言葉にできない葛藤が大きくなり自分では抱えきれなくなると、身体症状に現れたり、精神的な症状に現れたりするようになります。

子どもの身体症状や言動に何らかのいつもと違う感じを受けたのならば、それは、子どもからの助けを求めるメッセージかもしれません。気づいたときに、「SOSなのかも…」と考えてみたり、思いを至らせてみたりしてください。今この年になって、私自身の言動を振り返ってみると「親心」という名の押しつけになっていたたり、親の「欲」であったり、世間体であったりすることも多かったような気がします。

得てして、親である自分自身が子どもの頃、上手くできなかつたり、やりたくてもできなかったりしたことを、子どもにやらせることで、自分自身が満足していることもあるような気がしてなりません。これらのことは子育てが終わってから気がつき、いまさらながら反省している次第です。時すでに遅しなのですが…。さて、御自身は、大丈夫？

マラソン記録会《6月14日(金)》

快晴の中、ぐんぐんタイムのマラソンで取り組んできた成果を発揮すべく、号砲と共に勢いよく飛び出す子どもたち。入賞を目指す子、自己ベストを目指す子、完走を目指す子、それぞれ目標は違いますがゴールに向かって必死に走る姿は力強く輝いていました。応援も一生懸命でした。秋の記録会では更新できるように、日々練習に励ませていきます。

応援に足を運んでいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。秋の記録会も大きな声援をお願いします。



初めてのマラソン記録会。勢いよく飛び出す1年生。

《各学年1位紹介》

1年男子	小田 尊	1年女子	赤石 柚璃
2年男子	吉田 大翔	2年女子	中村 翠
3年男子	赤石 優真	3年女子	水戸ひより
4年男子	赤石 瑛斗	4年女子	福岡 愛珠
5年男子	館 慶虎	5年女子	中村 優月
6年男子	赤石 柊真	6年女子	加藤 瑠姫



スタート前。余裕の高学年。

読み聞かせ《5月28日(火)》

読み聞かせボランティアの方をお招きして読み聞かせを行いました。子どもたちは、興味をもってお話の内容を聞いていました。デジタル化により何でも便利な世の中。それによって活字に触れる機会が少なくなった近年。読み聞かせの活動を通して、改めて読書の楽しさを味わってもらえたらと思います。



陸上記録会《6月26日(水)》

村内4校で競い合った陸上記録会が終わりました。2週間前から4～6年生の合同体育で練習を重ねてきました。朝や昼休みの時間を利用して練習する熱心な児童もみられました。自分の目標に向かって本気になれる子どもたちは素敵です。当日は競技のみならず、応援席での態度、競技場内に響き渡るような大声援も立派でした。



バイキング給食で満腹

18日(火)。5・6年生限定のバイキング給食がありました。赤、黄、緑の栄養バランスを考えながら盛り付けている表情が、いつもより生き生きとしていました。配膳を終え、会食を待つ子供たちのそわそわした姿。可愛らしかったです。スイカやケーキなどのスイーツも充実。お腹も心も満たされた給食になったようです。

体は食べ物でできています。これからも、食の大切さを考えながら、楽しみながらたくさん食べて、心身共に健康な身体づくりが出来たらいいですね。

